

## □ アナリスト週間相場予想

	原油 Oil	ガソリン Oil	灯油 Oil
江崎			
西			

## Pick up News

### [注目スケジュール]

- 9/ 5 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 9 石油輸出国機構 (OPEC) 総会
- 10 石油連盟週報
- 米エネルギー情報局 (EIA) 週間在庫統計
- 12 CFTC建玉報告

## □ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京ガソリンにボリンジャーバンドを被せたものであるが、実は東京灯油、東京原油にも同じ指標をくつつけると、以下の点でほぼ同じ形。まず、3銘柄共にボリンジャーバンドが収束から拡散に転じており、尚且つ2σに沿って日足が推移している。これは明らかに下降バンドウォークを示現しており、このまま大幅な下降が見込めると言う事を意味する。次に8月中かけて形成していた持合の下限、ガソリンで言うと81000円~82000所に何日もかけて形成されていた強固なサポートラインを綺麗にブレイクダウンしている。これは今年のゴールデンウィークからこっちの新安値でありとても買える形ではない。以上2点において3銘柄が揃って同じ線形。買い参入は極力さげたい。(9/5引け後現在)

## □ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

ハリケーン「グスタフ」を巡っては、カトリナの記憶が呼び起こされて、市場関係者の警戒レベルが必要以上に引き上げられていたようで、結果はまさかの急落となった。ちょうど米国がレーバーデーで休場となったタイミングが災いしてか、時間外相場ではストップ安(10ドル安)でサーキットブレーカーが発動された。こうした狂乱的な値動きに関しては、コモディティを投資対象とするファンドの閉鎖が背景にあったとされており、急過ぎる動き(値段に関わらずポジションを閉じる必要に駆られる段階)は、得てして相場の転換点に近いところで起きやすい。こうした相場の習性を考えれば、まさにセリングクライマックスとも言えそうだが、ただ一つやっかいなのはドル相場の動きである。

毎週のように述べているが、今や原油と米ドルは強い逆相関関係にあり、為替市場でドルが強含めば原油は必然的に弱含み流れが出来上がってしまっている。これ以上価格が下がれば、9日に開催されるOPEC総会にて減産に関してコメントが飛び出す可能性が高まるとの見方が強まっているが、為替要因から上昇力が削がれることもまた十分に考えられるのである。そして、原油は商品相場の中核銘柄であるため、ファンドの解約が続けば商品全面安への導火線に火がつかかねない。

相場を取り巻く環境は売り方に見方しているが、さすがにこの値位置から売り込むの気が引ける局面である。週末を挟んだ動きは読みづらく、オーバーナイトのポジションは避けておくのが賢明であろう。OPEC総会に対する市場の見方が減産含みで固まり、なおかつドル高にブレーキがかかるタイミングを待って、短期買い狙いとするのが良策か。ガソリン買い・灯油売り、このストラドルに関してはこのままもう少し様子を見て行きたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

## ▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

## ▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。  
※上記取引証拠金は2008年9月1日現在の金額です。

## ▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から16,800円(往復)となります。  
※上記委託手数料は2008年9月1日現在の金額です。

## ▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。  
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)